

第6回、東亜日報を讀む会

1975. 5. 31. 於. 大阪経済学協会館

		ページ
□ 社説 <4.19. 15周年に思う>	1975. 4. 19	2
□ " <クメール内戦以後>	"	6.
□ 秘話 "ヤ-共和国" の秘話 . 4. 19 輪	5. 24.	10.
□ 裁判官冠避申請 . 金芝河	5. 19	13
□ 春眠一ヶ月 . 試練の文学街	5. 7	14.
□ コバウあじさん ' 5月3日 ~ 24日.		21
□ 無影塔		26
□ 日本<爆発事件>の報道		29

「東亜日報を讀む会」

神戸市東灘区多聞台3丁目10-25-201. ヒヤオ.

TEL. 078-781-8677.

《4・19 十五周年に思ひ》 1975・4・19付

『歴史を知らない民族は、歴史を繰り返す運命にある』という言葉がある。4・19 十五周年をむかえる今日に至って、最も熱を帯びた批難の対象になっている問題が、十五年前のそれと同じ性質の問題なのは、民族的にはすかしいことである。ひと言で言って、自由民主主義の制度的確立の問題がまさにそれである。

軍隊がはいて、監視している大学を始めとして、多くの大学が授業をなくしており、拘束されたり、拘留または除籍、停学等の處罰を受けた学生が続出しており、甚だしくは「大統領への公開状」を書き、腹を割いて生命を断った学生が出ている状況の中で、4・19 十五周年を迎えるのは悲しいことである。

4・19は、李承晩大統領の十余年にわたる家父長的独裁政権を崩壊させたが、成功した点で、独立協会の民権運動以来の諸々の民衆運動や学生運動に比べて、より大きな意味をもっていた。その意味は説明する人によって他に説明することもできようが、国民に、開化期以来、特に8・15解放以後に主に觀念上でなってきた自由民主主義に対する確心と、その表現を行う勇氣を持つようにしたことは、誰も否定することはできないだろう。それ故に、現行憲法で、『3・1運動の崇高な独立精神と、4・19義挙、および5・16革命の理念を継承し……』と明らかにした。

しかし、「義挙」という用語自体の語っている意味が、4・19は現行憲法の制定勢力によって低く評価されている感じがなくはない。事実、過去十余年を通じて政府が主導する近代化、ないし、工業化の嵐の中で4・19が指向していた民主化の課題は、終始一貫して陰に押し除けられてきたのである。

4・19は自由党政権の抑圧政治と、不正腐敗に対する国民的な憤怒が、3・15不正宣告をきっかけに学生デモの形式で爆発したということは周知の事実だ。どの社会でも学生たちは学問的な創造性と身分上の自由な立場から、現存の体制に対する批判と懐疑の精神が強く、従っていつも社会改革の前衛的役割をはたす。それ故現存の体制は学生の不満と社会的要求を体制内で吸収しながら、学生を急速に拡大する社会構造の運営に必要なエリートに育て~~て~~_てゆかなければならない。そのより先点から64年の6・3時代以後にほとんど毎年春の季節になれば学園社会が動揺し、それを取りしめるために戒厳令、衛戍令、緊急措置等がとられ、授業をなくし、少くない犠牲者だけ出すことを十数年そのままくり返していることは、国家的な不幸であり損失でないはずがない。

このよりの不幸と損失に対する責任は国民全体にあるというだけでなく、その最も大きな責任は現在の政治家たちにある。学生の運動することに対して、仮借なく制裁を加える政府と党側が、学生が立ちあがることを抑かに期待する野党政治家が、学生を

あつても活動的な現実の政治勢力であると。試み一つのことのよ
うに考えるのは、結局同様なことのようにだ。今日この国の学生運
動の悲劇はまさにこの点にあり、そのために結果的には現在の政
治家たちに対する不信の風潮にゆきおこしている。4.19以後
にあった政治的混乱と挫折は、自らの力で執権しえない政治勢力
は、政権担当の能力にも限界があることを示した痛癢に満ちた歴
史の経験ではないか。

このよりの政治状況は、この国の学生運動をして一直線に行動
にやりたてるあまり、運動の理論化を進展させないようになって
いるようだ。爆発的な情熱が失せて、学生としての身分を離れた
ならば若い人達がすぐに商業主義的な社会風潮にたやすく染ま
てしまうというのはそのためであろう。

しかし、それにも拘らず4.19精神は継承されている。4.19
で確認された自由民主主義の価値は、その間の国家的な経済規模
の拡大と国際情勢の変化等を経験しながら、内容が一層充実した
ということができる。それは最近に至って、自由の基本前提であ
る人権問題に対する認識が大きく広がっていることでも推しほか
るることができる。

但し、このよりの自由に対する制約要素が強くある北韓共産主
義者の存在を忘れることはできない。しかし、政府と党側が主張
する自由にとって不可避な制限が共産主義と対決する方法の全部

ではないだろう。このような消極的な方法よりは、むしろ自由の質と量を発展させていく積極的な方法を求めなければならぬだろうとおもう。しばしば貧乏は共産主義の温床だといひ。それ故我々の社会から貧乏をなくすることは非常に急を要する課題だ。しかし、その貧乏より一層恐ろしい共産主義の浸透路は、不正腐敗に代表される道徳律の墮落であることも忘れてはならない。

4・19はこの国の歴史に長く輝く金字塔だ。しかし、それは決して再び繰り返されてはならない。自由をどのように獲得し、どのように喪失したかについて4・19の教訓を国民のすべてが敬虔な心で反省しよう。

《クメール内戦以後》

過去3ヶ月間首都を死守していた「クメール」政府軍が、17日朝の内に、「クメール 赤」反政府軍に降服することで、70年「ロン・ノル」将軍のクーデターで樹立された「クメール」共和国は暫くして柔順をうけてしまった。5年間の内戦が終息して7百万の「クメール」国民はいったん平和をとりもどしたわけだ。ところが「クメール」の内戦は単純に現地敵対勢力間の紛争ではなく、外国勢力が深く介入した強大国の代理戦の性格を帯びていたものでありだけに、その余波が一層大きい。

今になってみれば、当初「フランス」が退いたあとを継いで米国の「印度支那」に足をつ、こゝろからが間違いであったかもしれない。特に過去5年間の米国の対「クメール」政策は一口に近視眼的であり、一貫性を欠いたものだったというほかないようだ。

米国の70年に「シアヌーク」の身代りの「ロン・ノル」を選ぶようになったところには、ベトナム戦争の拡大ともなり隣接「クメール」からの親米政権確保の必要性に起因していたのだ。むしろその時代でも国民から信望や権威をよせられていた「シアヌーク」に、「クメール」に対するベトナム浸透をなによりさせるよう米国の積極的に支援していたから、おそらく今日のように

な破局と侮蔑を受けることはなぬかもしれない。

それに加えて危機に処する「クメール」政府に対する援助提供可否をめぐる米国の行政府と議会間に批難と責任転嫁の乱脈をあらわすようになることで、米国の威信と、対外的な信用に深刻な損傷を招来するようになった。米国の超党的対外政策遂行面において脆弱性を露呈させた。しかし、今米国のインドシナの大失敗を挫折ではなく、貴重な教訓としておとし、「アジア」についてより深く、幅広い理解と反省をする新たな気持を持つことが中要ではないだろうかと思う。

大砲や爆弾だけでなく物理的手段だけでなくすべてのことが解決するといふのではなく、「アジア」の開発途上国がもっている矛盾、問題点、そして望んでいることが果してどのようなことかを、おおよそ認識する努力が欲しいものだ。

インドシナ情勢の今日の結果はインドシナ諸国の旧植民地勢力、または西方側影響圏からの離脱を意味するものがあるが、それは同時に隣接共産強大国への新しい隷属化をもたらすかも知れない点でインドシナ諸国の真の自主独立が沮害されるかという恐れをも排除することはあつかうがらう。

新しい「フロンポン」政府は中立、非同盟、外国軍事基地不許政策を標榜している「クメール 陣営」の構成だが、闘争過程等で推しはかってみると、将来も「ハノイ」と緊密な関係は継続的

持されることとせられるが、「クメール」のような弱小国家が、
ひとつの民族国家として独立平和、領土保存を維持しようとする
は、あるひとつの陣営にだけ偏向してはいけないう。中立、非同
盟政策を堅持しながら、すべての国々との親善の紐帯関係を発展
させてゆかなければならぬだろう。

「クメール」はすでに57年に永世中立法を公布したこともあ
つたが、その中立は結局外国勢力介入によって二わけてしまつた
のである。一次的には当事国が中立を維持しようとする意志と能力
も勿論必要であるが同時に強大国もその中立を尊重しなければなら
ないだろう。一方「クメール」政府が降服することによって「クメ
ール」と韓国との国交関係も自然消滅すると思われ、「シアヌーク」
公が韓国等とは外^交関係を結ばないだろうと宣言したこともあつて、
「クメール」新政府との外交関係樹立は当面の間おぼつかしいこと
と思われる。

しかし、しばらくの間「クメール」は南北韓の総領事館を共に
置いていたこともあり、また「クメール」が中立非同盟路線を
追求しようとするなら南北韓のうちどちらか一方だけを承認する
ことは均衡を失うようになることで、韓国とも将来外交関係を結
ぶことが妥当であり、互恵的だといえよう。

そして、政府としても「クメール」新政権が「クメール」内戦
に閑りのない我々を堅く敵対異端視しないように説得する努力を

傾ける必要があるようにだ。また我々の外交姿勢も、今は成年外交らしく米国にだけあまり依存し従う傾向は次第に脱皮する自主性が要請される。

市物に焼着て爆発した。デモ隊は自衛隊の射撃に耐えられず、
政庁の庭におどろき退走した。デモ隊はついに暴徒と化し始めた。

景武台口で後退 — 景武台口で血を流してから後退したデモ隊は中央庁(韓国政府)
の前の世宗路、大平路一帯を制圧していた。警察の銃撃を受け景武台に引き寄せられ
か出た。デモ隊の一部は中央庁前の京畿道庁の向い側のソウル市警武器庫前道端に
居残り籠城デモをくり出した。学生達は「罪なき学生を殺した殺人警官を殺せ」と叫んだ。一群の
デモ隊は「ワ〜ワ〜」と声を上げ叫びながら中央庁の石がきをえた。中央庁内の警備していた警
察は銃銃を逆にかついで逃さした。「殺人警官をつかえ」とデモ隊の投石が一斉に
始めた。瞬間に文教部議事堂の建物のガラス窓がこぼれ落ちた。建物の中におびりこんだ
デモ隊が二か所か所した。下に散らばった書類が中央庁の庭に落葉の上には積もった。時同じ
に本館の階会議室に入った国務委員達はびっくり仰天し、会議室の両側入口の重い鉄門を
つと奥深く入り、その内数人は4階まで逃げた。この日の朝景武台で国務会議が終了
後内務長官、沈延基、国防長官、金貞烈、文教部長官、崔在裕らは逃げ、後進しデモ隊
に追いつかれ、しかし国務委員達はこゝで沈痛な雰囲気の中で会議をつづけていたのだった。
しかしデモ隊はこゝに長官を捕らえることを知らなかった。デモ隊が後進部前に立つ米國援
助機関の高級セブン車を長官の車とまちがって押さかして、北身長官専用車、運転手はすぐ
に官用番号を自家車番号にかえて逃げた。

警察武器庫前：押寄せこいたデモ隊はついに興奮し武器庫内に肉迫し始めた。
この時武器庫の内にはM1小銃64丁と実弾47004発、カービン銃336丁と実弾
6374発が入っていた。当時警察無線連絡状況も録音した。検察録音テープはこの時の
状況のメモを録音してある。

- ▲ 武器庫(Mと略) → 市警備隊長車(K) デモ隊はついに興奮し入口に来た。
石がこぼれ入った。今おぼろげに、応援兵力を早く送って下さい。
- ▲ M → K こゝ武器庫はかきと受け大変です。この近所に兵力を早く送って下さい。
- ▲ M → 警備車 → K 騒乱事態です。銃を便し打ち、門が壊れました。
- ▲ M → K こゝを放火して、四方向をばらばらと早く送って下さい。
- ▲ M - K 門が壊れました。入れました。投石は数回も同じく入りました。
発砲してもいいですか。
- ▲ K - 市警(S) 局長が早く警備隊に下され。おぼろげには発砲してもいいですか。
おぼろげに早く相談して下さい。
- ▲ (M) - (S) こゝら武器庫です。発砲命令を下してください。早く下して下さい。
- ▲ M - S 市警 聞いて下さい。正門直前隊に火を放ちました。

★ S-1. 諺をばいさか、いさか 諺を聞け 局長の諺があれ
武器庫は死守せよの事だ。そして課長の現場判断にまかすから
おこなったこと(発砲)は しても良いとのお話をされた。

武器庫前で又 8名犠牲

千石之時五分 鼓膜をく銃声は武器庫前の道をふさぐ。武器庫、両端に
に 塀によりかかると、警察官が撃つ M-16カービン銃の無差別射撃に
テロは 無数に 満ちていった。

この状況の後世に証言したのは 金泰年君(21
中央大薬学大3)もここに 死んだ。その他 安承駿(22. ソウル大高大)
崔正奎(20. 延世大) 朴賛元(19. ソウル高) 崔信子(18. 徳成女中)
李清水(20. 国民大) 尹和燮(17. 商業) 李昌元(42. 職工長等)
全員 8名 武器庫前で 犠牲に なった。(南仲九記者)

裁判官忌避申請

金芝河被告人定尋問の途中、口頭で

= 東亜日報 5月19日付 =

ソウル刑事地裁合議第8部 (権宗根 部長判事, 李恭炫, 金義烈, 判事) は、19日午前10時、訴人金芝河被告 (34) の反共法違反事件の初公判を刑事地裁大法庭で開いた。

金被告は 20日、裁判長^官の定尋問に答え、裁判官^官忌避申請を口頭で行った。

金被告は、忌避申請事由として ▲ 公訴事実の中には人革党に関連する部分があるが、現裁判官構成判事の中には人革党事件公判を扱ったことがある人間ばかり、不公平である。▲ 弁護士接見が正しく行われず、一度 (30分間) 弁護士と会ったが「だ」という実態を挙げた。

これに対し、ソウル地検公安部^長 崔明夫検事は、被告が主張する事由は刑事訴訟法の忌避事由に該当しないから、忌避申請は却下しなくてはならないと語った。

裁判長はこれ以上裁判を進行せず、閉庭。次回^の裁判期日は直に指定すると明らかにした。

20日傍聴席には 咸錫憲、高銀、金相賢、朴景利氏 (大母 - 妻) と 咸世雄 神父 等が姿を見せ、外国人記者10余名が取材した。

「春眼1ヶ月」 ……試練の大学街

「閉講条件作り」

- ・インドシナ事態が「自省促求」の名分与える
- ・今月中に「一旦安定」の観測
- ・休講23大学中、休学が全面、12大学が部分閉講
- ・デモ主動者34名拘束、220名拘留、300余名懲戒
- ・時局觀の接近作業が問題

学生デモで試練の激浪に巻き込まれた大学が、高麗大休講措置後、
5月17日現在、徐々に平穏と秩序を取りもどしてきている。その間、校内を閉ざし休講していた23大学の中で5大学が全面閉講、12大学が部分閉講し、残りの大学も一日も早く門を開こうと、条件造りに車拍車をかけている。

このように学園正常化の雰囲気成熟してきているのは、最近の「ラッセル」、ベトナムなどインドシナ事態の急変が契機となったためであるように思う。このインドシナ事態が、政府としては学生の自省を促がす生きた教訓となり、学生には比較的自然的に後退できる名分を与えているわけだ。

学園事態で久しく沈黙を守ってきた全国の大学総長は、さる4月29日「難局を向えた祖国の現実を見て」という声明書を発表、『よりよい社会のための学生の欲求不満はわからないわけではないが、現実には国家安保上急迫した状態に直面しているため、学生が度を過ぎた現実参加で社会を混乱させず、勉学に専念することを期待する』とお願ひした。続いて高麗大教授は「難局に立向うわけの決意」を通して、総力安保最優先主義の正当性を再確認しながら、学園秩序の正常化に最大の熱意をかたむけると誓い、ソウル大の教授は『国民総和の努力に積極参加し、大学の使命を能動的に遂行する』という内容の「われわれの決意」を出した。

高麗大の学生も声明を発表、『休校措置まで起きた示威事態が、学生の本分を逸脱した過激な行動であったことを自認し、その責任

を痛感する』と明らかにした。

勉学の雰囲気作り而努力している各大学は、学生分担指導制を一層強化し、すべての教授に数10名ずつの学生を分担、彼らの教科および生活指導に責任を持たせるようにしている。これによって、教授は責任を受け持った学生たちを個別接触し、彼らの父母と面談し、家庭通信文を送り、開講後のデモ再発防止に協力してくれるようお願いしている。

このような状況からみて、今回ないし来園が開講を含む学園正常化のやまになるものとみられ、5月中には一旦大学街の安定がなされるものと、多くの大学関係者は観測している。

X X X

大学の試練は、最近年ごとに繰り返されてきたが、こんどの学期の場合、その試練はさらに大きく長かった。

高麗大休業校と韓国神学大休業を含め、23大学が学生騒擾で講義がごたごただったのをはじめ、延世大と高麗大の両名門私学総長が、学園事態の責任をとって去っていき、デモを主導した学生34名が拘束、220余名が拘留処分を受け、300余名の学生が除名または停学の学事懲戒処分を受けた。こうした大学の苦痛は、その原因がどこにあるとも、国家の発展と民族の将来のためには不幸なこととならざるを得ない。

当初、こんどの学期は例年と異なり、勉学の雰囲気は早くから作られ、多くの教授と学生が『今大学の授業は順調に行なわれよう』と明るい展望を出したし、大部分の大学が3月初めから90%内外の受講率を表わしていた。

年中業事のように悪循環を繰り返してきた学園事態に、自ら反省の姿勢を示す学生が多く、一部教授と学生は、デモを通じた現実参与方式にイヤを感じもした。学生会の幹部も「勉強しながら発言しよう」という態度をとったし、延世大と高麗大では、初めのいくつかの間は授業時間を避けてデモを行なった。

しかし、このように現実参与の問題をいつになく慎重に考えていた学生たちも、秋放学生および教授の復校の可否をめぐって起った延世大波動を契機に、動揺しはじめた。

2.15 播通の釈放された人々の中には、学生99名と教授2名が含まれていたが、文教当局は、当初これらの学生および教授の復校問題を総学長の意見に従って処置すると明らかにしていたにもかかわらず、幾日か後には『赦免や無罪判決を受けな~~ら~~い限り、復校をせるわけにはいかない』と態度を変えた。

これに反して南浜大学総長は『教育的にみて釈放学生を全員救済しなければならぬ』という立場を明らかにし、特に当時の延世大 朴大善総長は、普文教部方針に南浜なく『釈放学生全員と金策吉、金燦園の両教授をすべて救済する』という学校方針を引継ぎ押し進めたのである。

文教当局と延世大固のかけひきが幾度も継続された後、延世大教務委員会が3月13日「釈放学生救済方針を最終決定し、これに制載された文教部は、即刻警告書^{書状}を送り、救済方針^の撤回とともに朴大善総長および両金教授の解任、解職、休職^を要求するに至った。

その間、釈放学生救済問題は学生間の大きな争点として付加され、3月下旬頃には延世大、ソウル大、西江大、成均館大などであいっいで署名運動が繰り広げられた。しかし、この時でも授業は正常に行なわれた。

ところが、延世大朴総長の解任要求の処理期限である4月2日を前後して、いくつかの大学で声明書が発表され、校内示威などの普通でない動きが起り始めた。延世大の理事会は、文教部の要求を受け取らずそのかわり朴総長が4月3日自から辞任状を出した。

朴総長は『現実と理想のギャップにおいて、現実との妥協は難しくないが、学生が渴望する理想にそっぽを向くことはできない気持ちで心を悩ませた』と、彼の立場を明らかにした。(しかし、文教部側は『多くの大学が南浜する釈放学生問題を、朴総長がひとりとりあげ固執するため、勉学の雰囲気がかたなり、延世大が苦難におちいる結果となった』と語っている。

この延世大波動で学生デモははたいたいに拡大しながら、^{スローガン}標榜とデモ方法が激しくなっていた。3日と4日に延世大學生が大規模な校内および街頭示威を繰り広げ、ソウル大(3~8日)、高麗

大(7~8日)、西江大、外大(以上7日)梨花女子大、一光大、漢陽大、東慶北大(以上9日)、建國大、中央大、仁荷大(以上10日)などがあいついで校内外でデモを繰りたけ、ソウル大農学部^{の金相眞君林}が服自殺までした。

学生たちのデモのスローガンは、初めは主に釈放学生問題が中心となっていたが、しだいにスローガンの内容は変り「言論弾圧中止」「学園の自主性を保障」「学則改正」などに拡大されていき、続いて「民主回復」、ないしは「維新憲法撤廃」に広がっていった。高麗大、ソウル大などは『独裁政治を中止し、拷問政治の元凶を処断せよ』という主張と『北傀は神聖な学園を野欲達成のための道具として悪用するな』というスローガンも現わした。デモの過程で警察が催涙弾を使い、学生がこれに対し投石戦で向えたことは、例年と異ならなかった。

このように学生デモが事態が反体制運動に拡大されるや、政府は8日緊急措置7号を発動、高麗大に休校令を出すなど強硬な姿勢で学生デモにブレーキをかけた。続いて9日、文教部は韓国神学大に休業命令を出し、各大学に主動学生処罰を強く示達した。延世大と韓国神学大に対しては、総合行政監査まで実施した。

それでは各大学は、デモが起るとたちまちに休講措置をとり、高麗大韓国神学大を含め23大学が講義を中断するようになった。そしてソウル大、高麗大、延世大などがあいついで主動学生に学事懲戒を出し、4月25日現在、全国の25大学で除名169名、無期停学3名、有期停学1名、謹慎9名など、全部で252名が懲戒処分された。その後ソウル大などで引き続き懲戒学生が増え、300名を越えた。

一部大学では、学生を懲戒するにあたり、文教部当局が提示した対象学生の数があまりに多く、基準がはっきりしていないという反論が出陣痛をきかめている。高麗大は、初め18名だけを懲戒にしようとしたが、敬時同種には32名に増え、大量に除籍し、ソウル大は、58名の学生を敬時に分けて段階的に除籍した。

ともあれ、高麗大休校措置はすべての大学に大きな衝激を与え、これによって学生デモは一息とどまった。そして、延世大は朴総長の

辞表を受理したことはもちろし、両金庫教授まですべて解任し、高麗大も釜相決総長が出した辞表を受けた。

X X X

大学衛の強い台風は、今表面上ほとんどおちついていいる。しかし大学の傷跡がいえ、完全な正常状態にもどそうとすれば、また解決すべき問題が数多く残っている。

政府や学校当局がすみやかな学校秩序回復のために、あらゆる対策を立て、学生も早く大学に戻って学業に専念できるように待ちこがれている。

しかし、南講後再びデモが再発しないように、どのようにして保障あるのか問題がある。大学関係者は、どの時よりも総力安保が切実に要求されている時であるだけに、学生が南講後自粛してくれんことを信じているのだが、主動学生処罰、ソウニ大憲学部金相真君の死などが依然不安な要因として作用し得ると心配している。

そして、大部分の休講大学が来週頃までにはほとんど南講すると展望されるが、休校中の高麗大と休業中の韓国神学大が、いつ頃内をぬくか予測を許さないでいる。高麗大は最近、教授が総力員とい、勉学の雰囲気作り最大の努力をかたむけているが、韓国神学大の場合、主動学生処罰問題を含め、政府との見解の違いが続いているのが実情である。

多くの大学が、すでに1ヶ月近く休講したため、法定授業日数を補うため休みの短縮などの非常手段をとらなければならないようにた。何よりも重要なことは、政府と学生間に裂目が広がっている時局観を、どのように接近させるのかという問題であるということができる。

学生の主張の中にも注意深く聞かなければならない内容があるとすれば、政府はこの主張を消化してやるのに吝嗇であってはならず、学生は自分たちの主張考えがすべて正しいという姿勢を止揚国家的次元でもう少し慎重に発言し行動する自制力も持たなければならぬようにた。

Feb 22 1952
<鄭然春記者>

学園事態日誌

<2월>

- ▲15일=진급조치위반자 1백 48명 처분.
- ▲18일=柳문교敍免없이는석방학생복교시원수없다고언명.
- ▲22일=延大, 복학원서 접수시작.

<3월>

- ▲11일=중앙대생「大學人の 선언」남독후 시위.
- ▲13일=延大교무원가 복학 방침을 최종결정.
- ▲19일=문교부가 朴大善총장등의 해임을 요구.
- ▲24일=서울대생, 「학원자유수로 비상학생총회」를개최.西江大학생회가 복교위한 서명운동을 벌임.
- ▲27일=延大生, 교내대교무원문서 경찰과 대치.

<4월>

- ▲1일=문교부, 高대 韓神大등에 제고장보냄.
- ▲2일=延大 西江大생들이 교내대모.
- ▲3일=朴大善총장이 사임서 제출. 문교부, 延大에 行政감사실시시작. 延大생 서울대생 西江大생대모.
- ▲4일=延大生 이불제 가무대모. 서울대 李明靛君(22·경제과 4년)이 첫 구속됨.
- ▲7일=高대 西江大 서울대 外大생들 대모.
- ▲8일=진급조치 7호발등으로 高대에 휴교령내림. 서울대휴강.
- ▲9일=이화여대 중앙대 한양대 외국어대 서울대음대 경복대등에서 대모. 문교부 韓神大에 휴업명령내림. 서강대 이화여대 숙명여대 외대 가톨릭대 장로교신대등휴강.
- ▲10일=高대 金相浹총장 사퇴제청. 漢陽大등 8개대가 대모. 延大이사회 朴총장사임서할 수리.

<2月>

- ▲15日=緊急措置違反者 148名釈放.
- ▲18日=柳文教, 赦免なき釈放學生を復校させることはできないと言明.
- ▲22日=延世大, 復学願書受け付け開始.

<3月>

- ▲11日=中央大生「大學人の宣言」朗読後示威.
- ▲13日=延世大教務委員会が復学方針を最終決定.
- ▲19日=文教部が朴大善総長などの解任を要求.
- ▲24日=ソウル大生「学園自由守護 非常学生総会」を開催. 西江大学生会が復校のための署名運動を始める.
- ▲27日=延世大生, 校内でモ後校内で警察と対立.

<4月>

- ▲1日=文教部, 高麗大, 韓国神学大などに警告状を送る.
- ▲2日=延世大, 西江大生などが校内でモ
- ▲3日=朴大善総長が辞任書提出. 文教部

延世大に行政監査実施開始. 延世大生, ソウル大生, 西江大生でモ

- ▲4日=延世大生 2日目の街頭でモ. ソウル大 李明靛君(22·経済科 4年)が初めて拘束される

- ▲7日=高麗大, 西江大, ソウル大, ソウル外大生でモ.

- ▲8日=緊急措置 7号発動で, 高麗大に休校令あり. ソウル大休講.

- ▲9日=梨花女子大, 中央大, 漢陽大, ソウル外大, ソウル大音楽部 慶北大などでも. 文教部, 韓国神学大に休業命令下す. 西江大 梨花女子大, 叔明女子大, ソウル外大, 監理教神大, 장로教神大など休講.

- ▲10日=高麗大 金相浹総長辞任書提出. 漢陽大など 8大学がでモ. 延世大理事会 朴総長辞任書を受理.

▲11일 = 대모 동맹學生의 학사징계 시작. 전국대 승진대국민대 서울여대 서울신대동유강. 성균관대등 5개대학생대모. 서울대 농대 金相眞군할복.

▲12일 = 延大, 金東吉, 金燦國교수를 해임. 서울 信一高生을 광화문서 연좌대모. 金相眞군절명.

▲15일 = 高대이사회, 金총장사표수리. 서울 大工大生대모.

▲18일 = 숙명여대 첫 개강.

▲25일 = 柳基春문교장판, 학원사태에관해 회견.

▲29일 = 朴대통령의 安保강화특별담화발표. 전국24개大學총장을 「난국에 처한 祖國의 현실을 바라보며」란 성명서 발표.

<5월>

▲1일 = 高대교수들이 「난국에 처한 우리의 결의」를 발표. 高대학생회도 시국에관한 성명을 냄.

▲2일 = 서울 大교수들이 「우리의 결의」를 발표.

▲7일 현재 23개 유강대학중 5개교 전면개강, 12개교 부분개강, 6개교 전면휴강 계속. 학사징계된 학생은 제명 2백 7명, 중명 25개 대학에서 모두 3백여명.

▲11日 = 大モ主動學生の學事懲戒開始。建國大、崇田大、國民大、ソウル女子大、ソウル神大など休講。成均館など5大學生大モ。ソウル大農学部 金相眞君割腹。

▲12日 = 延世大、金東吉、金燦國教授を解任。ソウル 信一高生、光化門で連坐大モ。金相眞君絶命。

▲15日 = 高麗大理事会、金總長辞表受理。ソウル大工学部生大モ。

▲18日 = 未明せる大初めの開講。

▲25日 = 柳基春文教長官、学園事態に關して會見。

▲29日 = 朴大統領の安保強化特別談話發表。全国24大學總長「難局に直面した祖國の現案を見て」という声明書發表。

<5日>

▲1日 = 高麗大教授が「難局に対するわがわがの決意」を發表。高麗大學生会も時局に關する声明を出す。

▲2日 = ソウル大教授が「わがわがの決意」を發表。

▲7日 現在、23大學が休講中、5校が全面開講、12校が部分開講、6校が全面休講継続。學事懲戒された學生は、除名207名など、25大學で合わせて300余名。



5/3
税金9.13以後後取れば
問題なく更に取ると
なると取れ
もっと取れ



こんな「パルパル」
はいはいと吸って
OK...
どこか 見てみるかい?



国税庁
ア-!
久しぶり



バサッ
アッ
水がめっちゃバサッ
バサッしてバサッする



5/6
財産税の代わりに
家具を贈り物として



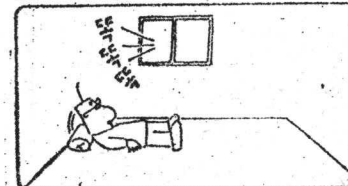
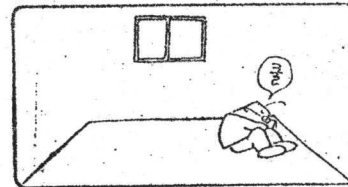
次の財産税は
家具の一部と...



もう来ない



最後の財産税
は妻と子供と...



5/5

7-

7-

ト=ト

昼寝税と連休税
と出さないとどうなる?

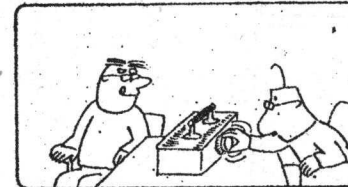


5/7

よくして
了る おどかし下す



貴客の「ご」を
のび

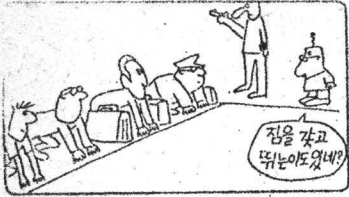


7/8/9-10R おどかし下す

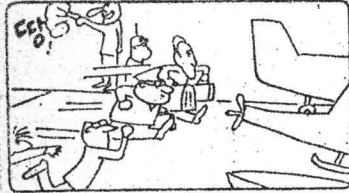


アハッ!
こんなおどかし下す

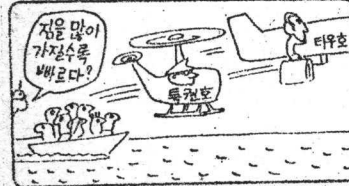
5/8



荷物を持て走る
ニヒもあるかかた?



7-7



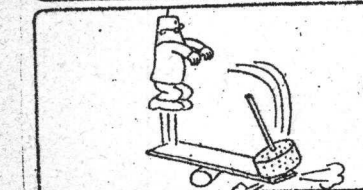
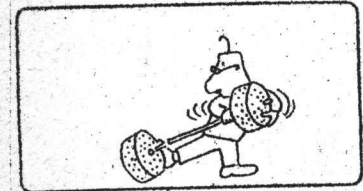
荷物を多く持つ程
早いよ?

特等号 7-1号



ベトナム脱走競争大会
競争種目をよく
下りな。
なるかな

5/10



5/9



我らは弱い立場ですから
援助をよろしくお願
いします。



ニ、ニ러다 專大主義刑法
にひかかるとかた?

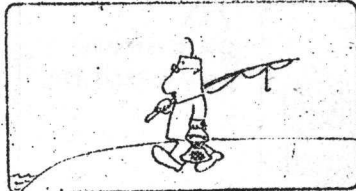


いい直します。



我らは安全だから 援助
をもう少しはするかい?
しないよんか?

5/12



課金引税徴収班



公務員給料を上げるためタバコ値上げする!



更に発展を促すため財産税を上げる

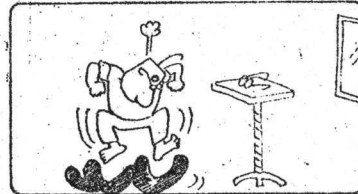
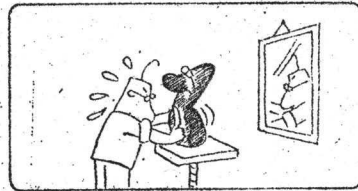


トナ

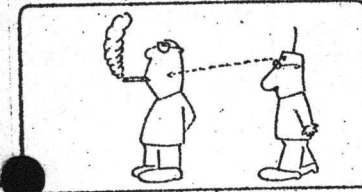


そんな窮民を助けるために、何れか1つ更に上げることにするのだ。

トナ



自画像



네! 500万円を罰金を払いたくない? 洋タバコ吸えば?

アウ!



早く捨てなさい! 何故返事がないの? ウアウアウア?



アウ! タバコを口で吸って、吐き出す。

アウアウ



(23)



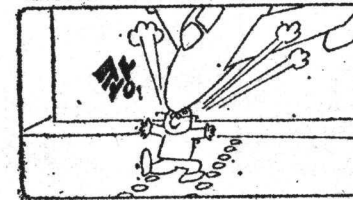
下に注意...



左右注意...



良心...



ハーン

코바우영감 김성환 (6417)



5/17
비밀번호와 장구장이
局長が捕えられた
か?



私も前に少しは...

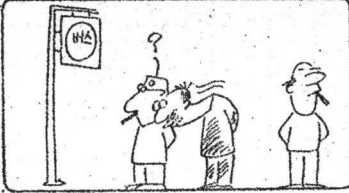


ンンンン
だ、だ、だ、だ



近頃これが必要な
方が多いから
眼薬

코바우영감 김성환 (6418)



5/19
バス
お、お、お、何を
覗き覗きしているの?



1番、洋平を販
している人を探しているの。
どこ?

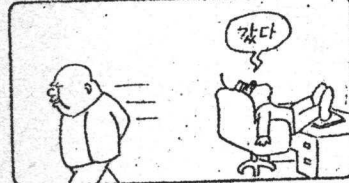


販している人がいないと、警察
に告発しないか? 500万円
の半額だけならいい
思う...

코바우영감 김성환 (6419)



5/20
熱心に働いている。
サササ



行くと



サッ!
サッ!
サッ!



素晴らしい!
自動車のバックミラー
をつけている。

코바우영감 김성환 (6420)



5/21
農水産部
バナナ輸入業者に手を
はさむのは...?



お手かまはる
か?!



これを見ては
わかる...



1番、はい
よくわかりました。
了解



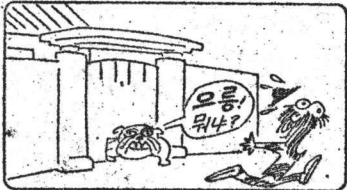
5/22

こんの家はどこにあるかわからなくて入れない



こんの家は?

トントン



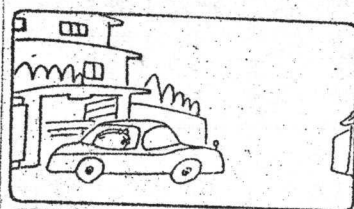
ウーッ!

何だ?



結局,こんの家になびたび来ることになる

トントン



5/23



どの方がよしくお優しいします。何ぞですか?



財産が4000万円を超えると移民することができないから、先生の家とわかれわかれの家と取り替えて下さい。



フフフ
またくだらない夢を見て。



5/24

色めがねを一つ

買わないよ君。



旅券をひとつ買って移民すれば?



君!ニヤの旅券を買って捕えられた?



いやその時にはニヤの解放指示書を買えば良いのです...

← 1月18日.

★ 日本映画輸入検討。まだ釜の心
にだけ見ても、はつと驚く心の。
拒否反応が。

★ サダト宣言、中東平和案採棄、辞

さび。心厚い「油心」に、おべななるキツンジャー。

★ ひったくり激増。上濁下不浄、「ひったくり司会」以後の
事態にけろはばかろうに……

★ 李丙璘弁護士拘束。せみせん関係ない事をあて、さかし出す
この風塵世上。(注、李氏はゴジングでこっちあげられた。)

★ 本社広告局長ら帰社。曲ってはいないその顔に同僚の拍手が。

日本映画輸入 検討。釜の心
にだけ見ても、はつと驚く心の。
拒否反応が。
「サダト」宣言、中東平和
案採棄。拒否反応。油心」
案採棄。拒否反応。油心」
案採棄。拒否反応。油心」
案採棄。拒否反応。油心」



← 1月20日.

★ 社会不徳事犯も困束したと。
道徳律をかざしてみても世は
ソドムとイモウ。

社会不徳事犯を 困束したと。
道徳律を かざしてみても世は
ソドムとイモウ。
社会不徳事犯を 困束したと。
道徳律を かざしてみても世は
ソドムとイモウ。



★ 旧正物価安定のため生活品供給増。ない時には、生まれた日
月 一日のことや忘れる莫(?)

★ 民主回復国民会議、不当な連行中止要求。先賢のことばに、治者は、
徳が根本。★ 珠血病事故で、血液飢饉。禍入単行で
あるとにも

★ ソウル市きょう冠岳キャンパスに移転。どこに行っても情入れば
故郷、そのとありに……。

外換銀行の 対外信用 墜落。
外換銀行の 対外信用 墜落。
外換銀行の 対外信用 墜落。
外換銀行の 対外信用 墜落。



← 1月21日.

★ 外換銀行の対外信用墜落。万
争はあ金が先方金なれば、
信用も千里万里。

★ 国立大学教授研究費大幅引上げ。

腹が11ぱいになつて美人も目につり、策もみえる

★ 周恩来、米ソ競争が大戦誘発おそれ警告。おはれは「おはれ、いやばらいやと

★ ソウル市長、公務員収賄に受取元手。木は上から下流れる法だ

★ 東亜広共解約はありたい」と。その言葉がでるまで一ヶ月かか

(記者、注、東亞日報の“無影塔”は、日本の朝日新聞なら“素粒子”、毎日新聞なら“近事片々”にあたります。最近のもの、1月のものを少し訳します。)

「東亞」에 「대한」 초오호 민주정권. 「無影塔」에 오호 하오하 「그림자」가. 「오호」故師. 「出國不當」行訴. 緣木에 오호하 오호하 오호하. 「僞裝移民」인물搜查. 「外國人」이라고 認히는 者 오호하. 徵兵検査 不合格者에 오호하. 豪華住宅家具에 오호하. 絶處産生(急めれば) 오호하.



← 1月13日.

- ★ 「東亞」に輝かしい民主主義。
- 「無影塔」にも天国の「面影」が。
- ★ オグル牧師、「出國外行詭提。縁木にでも求魚してみる

- ★ 「偽装移民」一斉捜査。「私は外国人」だとくつてかかる者があつては。
- ★ 徴兵検査不合格範囲を拡大。人のやり方にならつて「偽装不合格」が拡大すれば、狼狽。
- ★ 豪華住宅家具となるセウル老巨樹。絶處産生(急めれば)通ふ)も、いろいろ。

元豊財閥에 26억의 金融特惠. 天文学에 오호하 오호하. 「朝鮮」에 오호하 오호하. 「韓國」에 오호하 오호하. 「朝日新聞」에 오호하 오호하. 「毎日新聞」에 오호하 오호하. 「近事片々」에 오호하 오호하. 「素粒子」에 오호하 오호하. 「無影塔」에 오호하 오호하. 「東亞日報」에 오호하 오호하. 「民主主義」에 오호하 오호하. 「輝かしい」에 오호하 오호하. 「天国」에 오호하 오호하. 「面影」에 오호하 오호하. 「オグル」에 오호하 오호하. 「牧師」에 오호하 오호하. 「出國外行」에 오호하 오호하. 「詭提」에 오호하 오호하. 「縁木」에 오호하 오호하. 「求魚」에 오호하 오호하. 「試みる」에 오호하 오호하. 「偽装移民」에 오호하 오호하. 「一斉捜査」에 오호하 오호하. 「外国人」에 오호하 오호하. 「くつてかかる」에 오호하 오호하. 「者」에 오호하 오호하. 「あつては」에 오호하 오호하. 「徴兵検査」에 오호하 오호하. 「不合格範囲」에 오호하 오호하. 「を拡大」에 오호하 오호하. 「人のやり方」에 오호하 오호하. 「にならつて」에 오호하 오호하. 「偽装」에 오호하 오호하. 「不合格」에 오호하 오호하. 「が拡大すれば」에 오호하 오호하. 「狼狽」에 오호하 오호하. 「豪華住宅家具」에 오호하 오호하. 「となる」에 오호하 오호하. 「セウル老巨樹」에 오호하 오호하. 「絶處産生」에 오호하 오호하. 「(急めれば)」에 오호하 오호하. 「通ふ)も」에 오호하 오호하. 「いろいろ」에 오호하 오호하.



← 1月14日

- ★ 元豊財閥に26億ウオエの金融特恵。天文学でも取り扱別の国の話。

- ★ 学生懲戒、新学期前解除。人権も自由もその道によつて、解禁。
- ★ 総合病院、医療費植上。病でも医療制度をなおす治療費はいくら？
- ★ 拘束者家族ら、連行事態。「禍不单行」を果行にみるあ無情。
- ★ 「朝鮮」(朝鮮日報)、「韓国」(韓国日報)記者達、言論自由守護再確認。いばらの千里の道の確認、再確認。

5月21日

★全高校、大学に学徒護国団。同
名異団が、同名同団かがあった記憶。
★国会、安保決議採択。自由、民
主、庶政刷新…干至当乃至当の



全高校・大学に 学徒護国
団。同名異団인지 同名同団
か。どうか。どうか。

國會、安保決議採択。自
由、民主、庶政刷新…干至
當乃至當の

★ 民願はもろく 根絶
根絶させろ 根絶せ

★ 人畜無害の樹み薬食へ絶命。
「畜無害」に人畜 冠詞を

★ 賣血者の血代も横領ある血液院。その吸血院に、若い
血球たちのあり泣きの声。

金言録。★ふたたび民願ブローカー根絶指示。根絶指示まで
根絶しよ日は。★人畜無害の樹み薬食へ絶命。「畜無
害」に人畜、冠詞としてだけついていた事。
★賣血者の血代も横領ある血液院。その吸血院に、若い
血球たちのあり泣きの声。

5月23日

★ 韓権、ふたたび
韓国に。その長期執取は
は国論分犯は固所願。
★北傀、外貨難深刻説。



「北傀」外貨難深刻説。「内
禍」早急解決すべし「外禍」
も急務也。固所願。

★ 北傀、外貨難深刻説。「内
禍」早急解決すべし「外禍」
も急務也。固所願。

★ 3年間に 高位置地。市
市緑地。高位層指示。「時効」
効は3年満了。

★ 日本は、生糸輸
入規制。ナミト 製糸、生糸
製造、製糸、製糸、製糸

★ 東洋ビルディングに火。火災
恐ろしい。火災、火災、火災

「内禍」あひなみても「外禍」が
★3年目にまた届りかぞのソウル市緑地。高位層指示。「時効」
は3年満了。★糾弾する日本の生糸輸入規制。
なうにもあった、さばぎにもなった、変態作態。
★東洋ビルディングに火。火災と悪縁深いある新積会社は

5月24日

★ 保安処分を行政処分として立法議
司法は除外された二権の能率
志向。★金成 南韓反政闘争
を支援云々、「私の故に地球は



保安処分を 行政処分として
立法議、司法を、その二は二
権の能率志向。

★ 金成、南韓反政闘争を支
援云々。「私の故に地球は
球が、地球」に錯覚。

★ 偽装移民株券、偽造田権券。諸行無常を
はやく諸行偽装の黒雲象生。★中高授業料値上げ検討。家長
の両手には白旗が。★ポルトガル社会党、軍政ポイント。
志気の脈搏はばみ打っている。

★ 五五五五 杜鰲、軍政
ポイント。志気の脈搏はばみ
打っている。

「私の故に地球は
偽装移民株券、偽造田権券。諸行無常を
はやく諸行偽装の黒雲象生。★中高授業料値上げ検討。家長
の両手には白旗が。★ポルトガル社会党、軍政ポイント。
志気の脈搏はばみ打っている。

「連続爆破事件」に7月2 東京日報及び7新道しているが。

5/20付 才7面 左端

・在日「韓国産経研」爆破容疑者

日朝7名逮捕

1名は率倒死亡

日本警察は、過去の4月19日 東京に於いて、韓国産業経済研究所の爆破事件と関連して、無政府団体組織一隊7名と19日逮捕した。その中1名は審問中、心臓麻痺と、20日発表した。

逮捕された一隊中の女子2名については、東京和警視庁は明らかにした。

この日死亡した「青藤和」(27)は、審問中率倒し、即時病院に移送され、治療を受けたが、絶命したと、当局は正確に韓国を去るために、20日屍体を解剖する予定である。

一方、警視庁代表は、この一隊が昨午の相模川に於いて三菱、本社と、その他大企業の時限爆破事故と関連があるとは、捜査は進行中であると明らかにした。

・主犯 佐々木 下用田は、朝鮮系人物であると、

日本警察は、19日逮捕した連続爆破事件犯人8名中、頭目級である「佐々木」下用田は、若い朝鮮系者であると、推定している。

警察は、犯人の韓国関係企業体の名を明らかにし、佐々木の爆弾取組者「藤原式」爆破宣言文は、佐々木は、ハングル及び韓国関係表現等、推測し、韓国語の豊富な知識を持つ7月-7日と判断している。

5/22付 才7面 右中

・「在日韓国産経研爆破」主犯2名

韓国へ4回往來

韓国産業経済研究所爆破事件の犯人中、主謀者級2名を合わせて4回に及んで韓国を往來した事実が、明らかにした。

警察は、韓国産業研究所爆破事件の関連嫌疑で、拘束された犯人8名の中で、他の企業爆破事件にも関係したと、捜査は継続中である。佐々木8名中「佐々木」(26)は、72年4月23日から4月13日まで、韓国に往來し、逮捕直後、服毒自殺した青藤、(27)は、72年4月14日から5月13日まで、韓国を訪問したと、明らかにした。

73年7月からの8月にかけて30日間、74年1月からの2月にかけて16日間、全部で3回ほど
韓国に往來した。

警察の調査によれば、以前「青藤」の住人として入った住人も、69年12月からの71年3月
にかけての間に「青藤」が韓国に行き、密に出入りしたと推定されている。韓国に
行く可能性があるとみられる。

日本警察は、これらの活動目的は韓国の市場、特に進出企業家層に知りたけたいとみ
ており、具体的には目的と、韓国国内の活動状況と把握することから事件発明の
鍵と見做している。

「東京」及び日武装部隊と自称する、北の連統爆破事件犯人グループの爆弾製造技
術を伝えている地下出版物「北の北の研習」(腹腹研習)の表紙後面に韓国語で「
創造」の文字が印刷されている事実も、北の韓国往來と関係していると思われる。警察は
「創造」の入手経路を調査している。

北の「北の北」の近親者中の一人は無政府主義者組織「北の北」の創設者で「青藤」
の思想の大きな影響を受けているとみられる。北は71年から73年の間に約半年
間、3回ほど韓国に往來する事実が知られている。

この往來の間に「北の北」爆弾製造企業は全般的に海外進出企業、特に韓国進出企業として
韓国市場を開拓する中で、北の中に混入していると見られ、日本警察は最初からこれに注視して
いる。犯人グループは、金と恩恵を行使し、19日拘束以後、14日を南に「青藤」の販賣自
行したと3名が青藤グループと推定される。北の思想の無政府主義者集団である。